



地元と共に歩む国有林

地元史に残る地域とのつながりをこれからも



空知森林管理署
北空知支署 支署長
佐 渡 英 一

北空知支署が所在する幌加内町の広報誌に「幌加内町史」という連載コラムが

あります。これは先人たちの並々ならぬ苦勞と開拓精神により、今日の近代的な

社会生活を営む礎が築かれたことを改めて思い起こすことが目的のようです。

その中には度々国有林との関係が話題となった出来事を紹介する記述があり、例えば：町内にある「ほろたちスキー場」が完成するまでの項では、当時（昭和二十六年頃）国有林内にスキー場が作られないものかと関係者が腐心していたところ、営



日本最大の人造湖「朱鞠内湖」。湛水面積は2,373ha！

林署で職員のスキー技術向上のためにスキー場を作るとの話があることを聞きつけ「一般村民への開放を願い出ようと話がまとまり、時節柄権威の大きかった営林署長に恐る恐る陳情した」、また、「立野経営課長の尽力が大きかったので、名前から一文字もらって「幌立山」と命名した」とあります。その後も拡張のために保安林協議を営林署

と続け、ようやく今のスキー場が誕生したと伝えられています。

このように国有林と地元とは常に協力し合い、時には話し合い、一緒に歩み続けてきたのです。

当支署では全職員で開かれた国有林を指し業務を進めており、今後も地元と共に歩んでいきたいと考えています。

さて、話は変わりますが、みなさんの夏休みの計画はもうお済みでしょうか？

ここ北空知地方の観光についていくつか紹介したいと思います。

まず、キャンプを計画の方はぜひ幌加内町の「朱鞠内湖」へ、パークゴルフな



幌加内町広報の「幌加内町史」に紹介されている「ほろたちスキー場」誕生秘話



朱鞠内湖キャンプ場
人造湖とは思えない程、周囲の豊かな自然に溶け込み美しい景観を見せる朱鞠内湖で楽しいキャンプを！

ら一〇〇年記念公園へ（全五十四ホール）。七月から九月にかけては、北竜町の「ひまわりまつり」、沼田町の「ホタルまつり」、幌加内町の「蕎麦まつり」など、沢山の見所があります。ぜひ、今夏は北空知へ足を伸ばしてみてください。